

技術資料 第1号

平成23年7月5日
島根県病害虫防除所

..... フタオビコヤガ（イネアオムシ）の発生に注意してください

フタオビコヤガの粘着予察灯（浜田市）への誘引数は6月上旬から増加傾向にあり、6月の総誘殺数は前年より多く（図1）、また、昨年被害が多かった吉賀町で6月下旬に採集した蛹は7月第1半旬までにすべて羽化しました。今後、次世代幼虫による被害が増加する恐れがあります。

1. 昨年の発生が多かった圃場は今年も多発する恐れがあるため特に注意してください。
2. 幼虫の発育が早く被害の進展も早いので、カスリ状の食害や幼虫の発生を確認したら若齢幼虫期に防除してください。
3. 窒素過多の葉色の濃い圃場や成育の遅れた圃場に被害が集中するので注意してください。

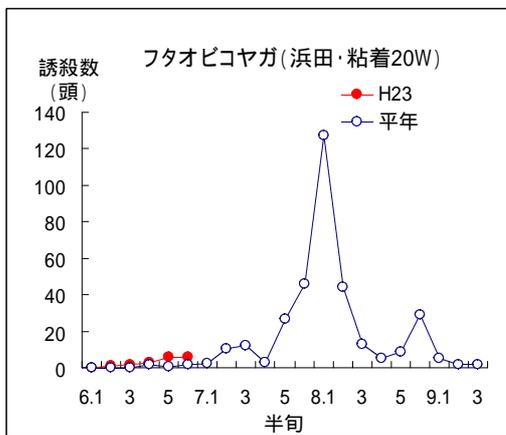


図1 .予察灯での捕獲状況



図2 .成虫：体長 6～8mm、 8～10mm



図3 .被害圃場(H21.7.12)



図4 .食害の状況（幼虫）

幼虫は緑色で約2センチくらいまで成長します。ふ化直後の幼虫は葉の表面をカスリ状に、3齢以降は葉の縁から階段状に食害します。

防除に当たっては、農薬の使用基準（適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数）を遵守してください。